

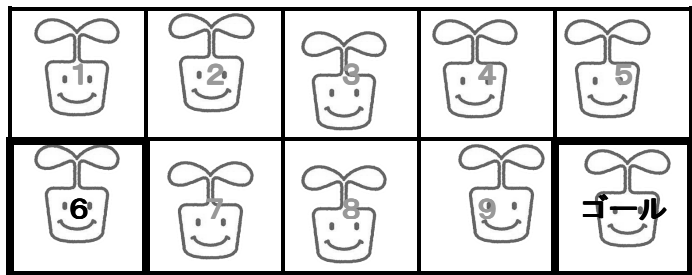
ライフラリーニュース・5月号

笠岡商業高等学校 図書視聴覚課
No. 2 2013.5.1(水)

☆ スタンフラリー をやります

期間中に本を読んで、ポイントを集めよう！

(5/1～5/29)



連休前に1冊ね！



◆ 6個たまれば **「ジャンケン」** !!

→ 勝者には何かいいこと、あるかも!?

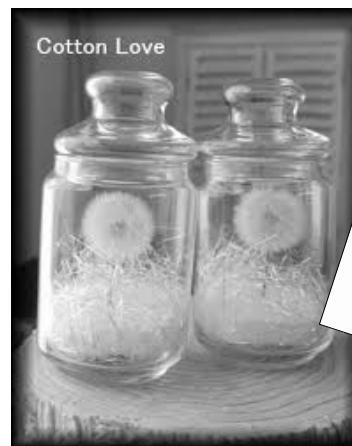
◆ 10個たまれば **「くじ引き」** にチャレンジ!!

→ 空くじなし!!!

☆ 「ものづくり講座 @笠商図書館」のご案内

5月は、「母の日」のプレゼントにぴったり! の

ふわふわ タンポポ綿毛のドライフラワー
& メッセージカード



○日時：5月8日(水) 16:00～17:00 (※終礼・清掃後)

○場所：笠商・図書館

○費用：100円 (ビン・リボンなどの材料費) ※当日徴収

○申込み：5月2日(木)までに,

図書室カウンターで申し込んで下さい。

○定員：先着 10名

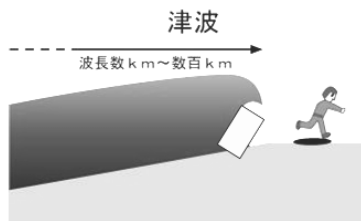
☆「ライブラリー・シアター@笠商」の報告

今年度、笠商図書館の新しい取り組み「ライブラリー・シアター@笠商」は、岩波科学映画『災害の科学』を視聴して、「防災について考える」というものです。

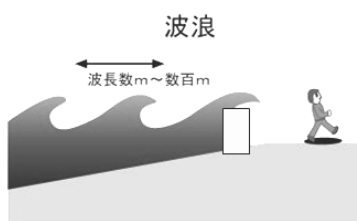
その第1回を4月26日(金)の放課後に開きました。今回は「〈津波〉について科学的に考える」という内容でした。

津波がなぜ大きな破壊力を持つのか。それは津波が普通の海の波とは違う性質の波であることが原因と言える。波の性質を実験で見せ、1960年太平洋岸を襲ったチリ津波を例に、津波の伝わる速さ、地形の影響を解説する。

参加してくれたのは生徒4人・先生3人でした。最初に「波の波長」について、プラスチックばねを使って説明しました。科学映画「津波」の映像は13分あまり。途中で映像を止めて、視聴プリントに書き込みながら見てもらいました。また、残りの10分で「東北放送編集の震災映像記録」の実際の津波の映像も見てもらいました。〈津波〉は波長が数百kmもあるとてつもない巨大な水の固まりが、時速数百kmで押し寄せてくる恐ろしいものでした。



巨大な水の壁となって長時間力が加わる津波は、陸上のものを破壊しながら、内陸まで一気に浸水する。



津波と高さが同じでも、波浪(風による波)は波長が短いため、一つひとつの波による力は小さく、沿岸で砕け散

【参加者の感想】

○津波の怖さは思ったよりもすさまじかった。波長が長いほど速く波(表面波)が伝わることや、深ければ深いほど被害が大きいということも始めて知った。波が重なり続けたら、ものすごい大きい津波になっていたので、怖かった。いい勉強になった。(Nさん)

○今まで考えてきた〈津波〉と少し違って、勉強になった。チリで発生して(日本まで)すごく遠いのに(伝わってきて)、津波ってほんとうに怖いと思った。避難の場所もちゃんとしておかないといけないなと思った。(Mさん)

○東日本大震災があったことは、もちろん知っていたけど、津波がどんなものなのか、詳しくは知らなかった。今日参加して詳しく知ることができてよかった。簡単に家が流されてしまい、津波ってほんとうに怖いものなんだと、改めて思った。(Kさん)

○普段、海で気持ちいいなと思っている波と、津波は違うことを知った。波長が長いと、押し寄せてくる時も

引く時も、建物を壊すことに驚いた。津波にはもっと注意したいと思う。(Iさん)

○津波(長波)と風の波(短波)とを比べて、津波の何が危険なのかよく分かった。しくみが分かると絶望的な気分になるが、逃げられるならすぐ逃げるべきだと痛感した。津波に遭ったときにできることは〈高いところに逃げる〉しかない。(F先生)

○ふつうの波と津波との違いがよく分かりました。科学的な知識があると、防災意識も高くなると感じました。もっと参加者が多くなるといいなあと思います。ありがとうございました。(S先生)

○仕組みを知ることができて、津波のことがたいへんよく分かりました。「なぜ」が分かるのは楽しいことです。ありがとうございました。(H先生)

☆次回は5月29日(水)16:00から科学映画「地震と建物」を見ます。どうぞご参加ください。